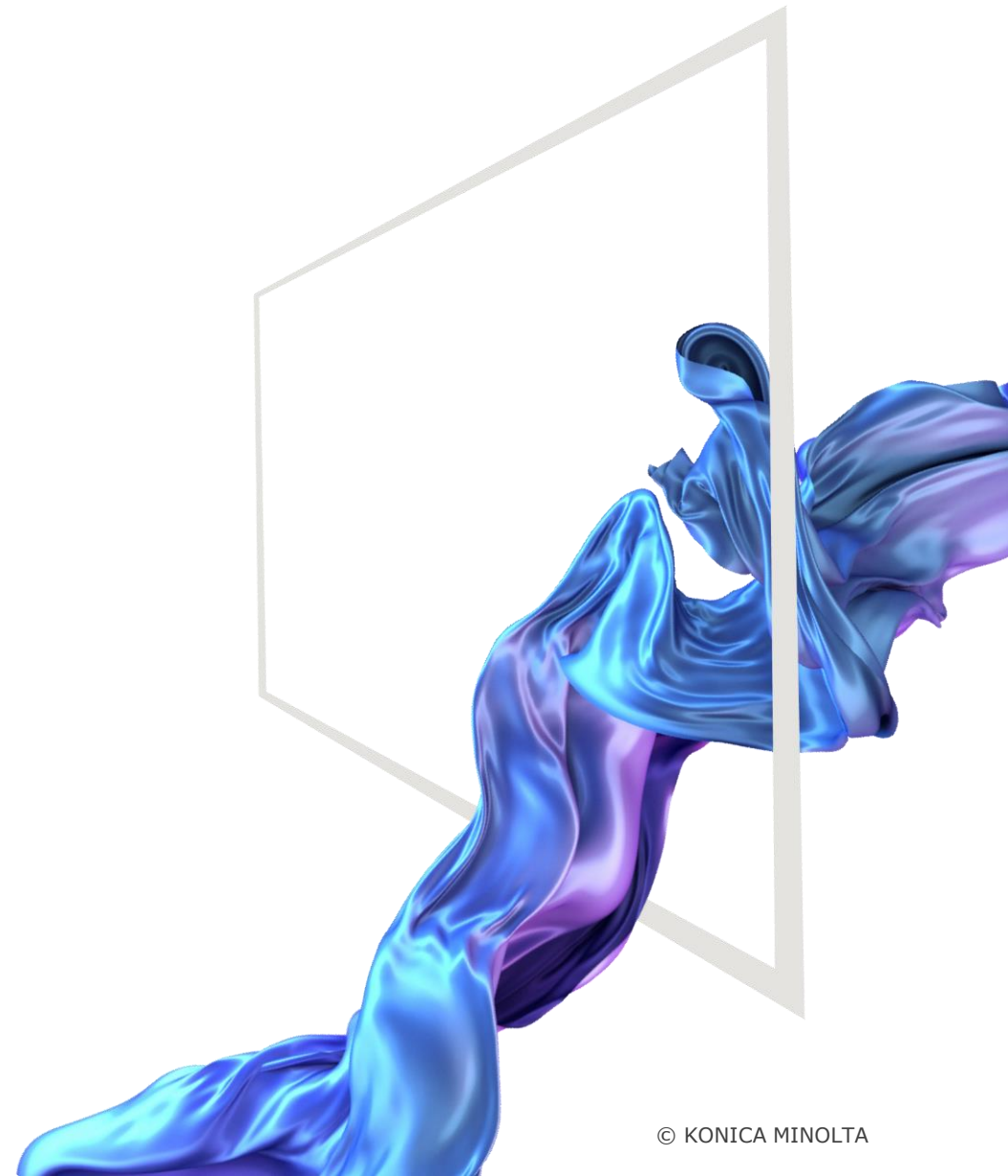


コニカミノルタ株式会社 2024年3月期（2023年度） 決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2024年5月14日



本日のポイント

FY23 実績

- **売上高** : 過去最高の売上高
- **利益** : 当期利益まで計画を超過し、営業利益、当期利益ともに黒字化
- **FCF** : 営業CF増加により大幅に計画値を上回る

中期経営計画の進捗

- **事業の選択と集中** :
 - 情報機器* : 業務提携に向けた基本合意書締結 (4/15)
 - プレシジョンメディシン : Invicro社の全持分譲渡完了 (4/30)
- **財務基盤の強化** :
 - 運転資本圧縮による営業CFの黒字 (4Q 368億円、通期 833億円)

2023年度 業績



KONICA MINOLTA

2023年度 業績 | 全社サマリー

FY23 通期実績

- 売上高 : 増収
- 事業貢献利益* : 受注残解消効果の剥落に加え、人件費増加で減益
- 営業利益・当期利益 : 黒字化
- FCF : 大幅増加
- 期末配当 : 5円/株 (計画通り)

	FY23 通期	対前年			FY23 4Q	対前年		
		FY22 通期	前期比	為替影響を除く 前期比		FY22 4Q	前期比	為替影響を除く 前期比
売上高	11,600	11,304	+3%	△ 3%	3,180	3,094	+3%	△ 6%
売上総利益 (売上総利益率)	5,047 43.5%	4,859 43.0%	+4%	△ 3%	1,366 42.9%	1,344 43.4%	+2%	△ 8%
販売管理費	4,787	4,562	+5%	△ 0%	1,228	1,156	+6%	△ 2%
事業貢献利益	260	297	△ 13%	△ 50%	138	188	△ 26%	△ 47%
営業利益	261	△ 951	-	-	175	△ 985	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	45	△ 1,032	-	-	87	△ 999	-	-
FCF	388	△ 242	-	-	255	186	+37%	-
為替レート (円)								
USドル	144.62	135.47	+9.15		148.61	132.34	+16.27	
ユーロ	156.80	140.97	+15.83		161.31	142.10	+19.21	
RMB	20.14	19.75	+0.39		20.63	19.34	+1.29	

* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

2023年度 業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

**FY23
通期実績**

【億円】

売上高	FY23 通期	対前年		
		FY22 通期	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	6,149	6,003	+ 2%	△ 4%
プロフェッショナルプリント事業	2,634	2,526	+ 4%	△ 2%
ヘルスケア事業	1,390	1,378	+ 1%	△ 3%
インダストリー事業 *1	1,396	1,371	+ 2%	△ 2%
コーポレート他 *1	31	26	+ 19%	+ 19%
全社合計	11,600	11,304	+ 3%	△ 3%

事業貢献利益	FY23 通期	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 通期	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	327	5%	307	+ 7%	△ 14%
プロフェッショナルプリント事業	138	5%	151	△ 8%	△ 36%
ヘルスケア事業	△ 66	-	△ 70	-	-
インダストリー事業 *1	124	9%	217	△ 43%	△ 48%
コーポレート他 *1	△ 263	-	△ 307	-	-
全社合計	260	2%	297	△ 13%	△ 49%

営業利益	FY23 通期	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 通期	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	330	5%	215	+ 53%	+ 24%
プロフェッショナルプリント事業	116	4%	136	△ 14%	△ 44%
ヘルスケア事業	△ 13	-	△ 1,115	-	-
インダストリー事業 *1	94	7%	135	△ 30%	△ 39%
コーポレート他 *1	△ 266	-	△ 321	-	-
全社合計	261	2%	△ 951	-	-

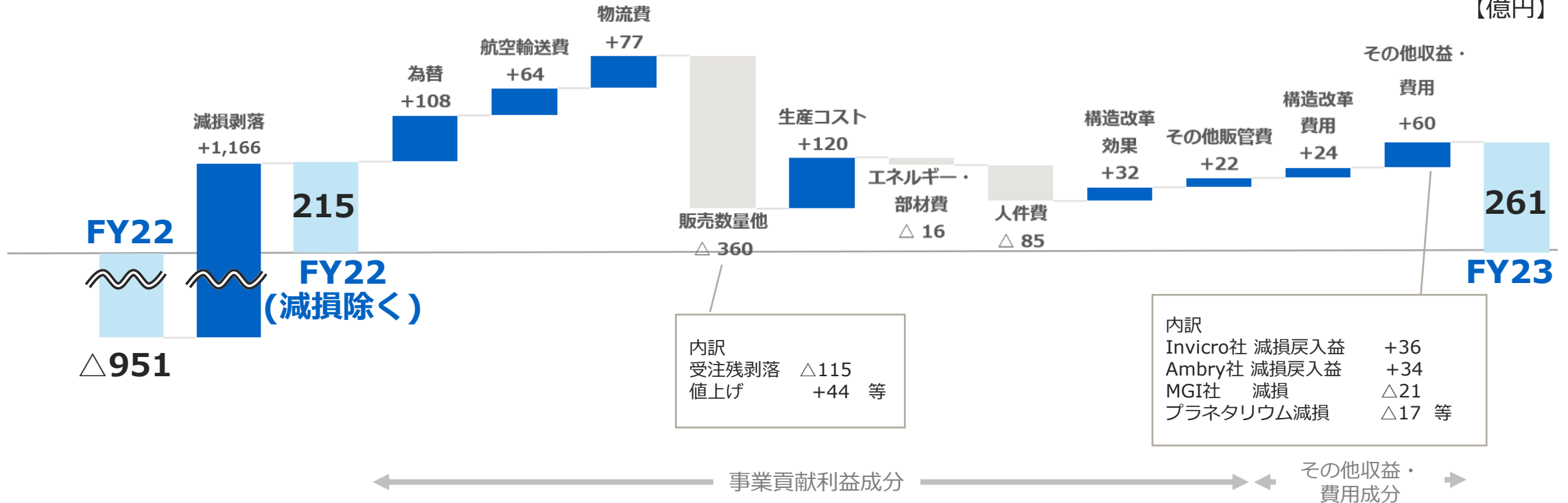
* 1 FORXAIの売上高・事業貢献利益・営業利益は、FY22はインダストリー事業、FY23はコーポレート他に含む。本資料ではFY22もコーポレート他に組み替えて表記。

* 2 本社費等配賦調整：全社に関わる一部費用を、2022年度まで事業セグメントに配賦をしていたが、2023年度から見直しを実施。

表中の値は、参考として2022年度実績の費用配賦を2023年度の基準に調整した後の値。
デジタルワークプレイス事業とプロフェッショナルプリント事業の共通費配賦調整を含む。

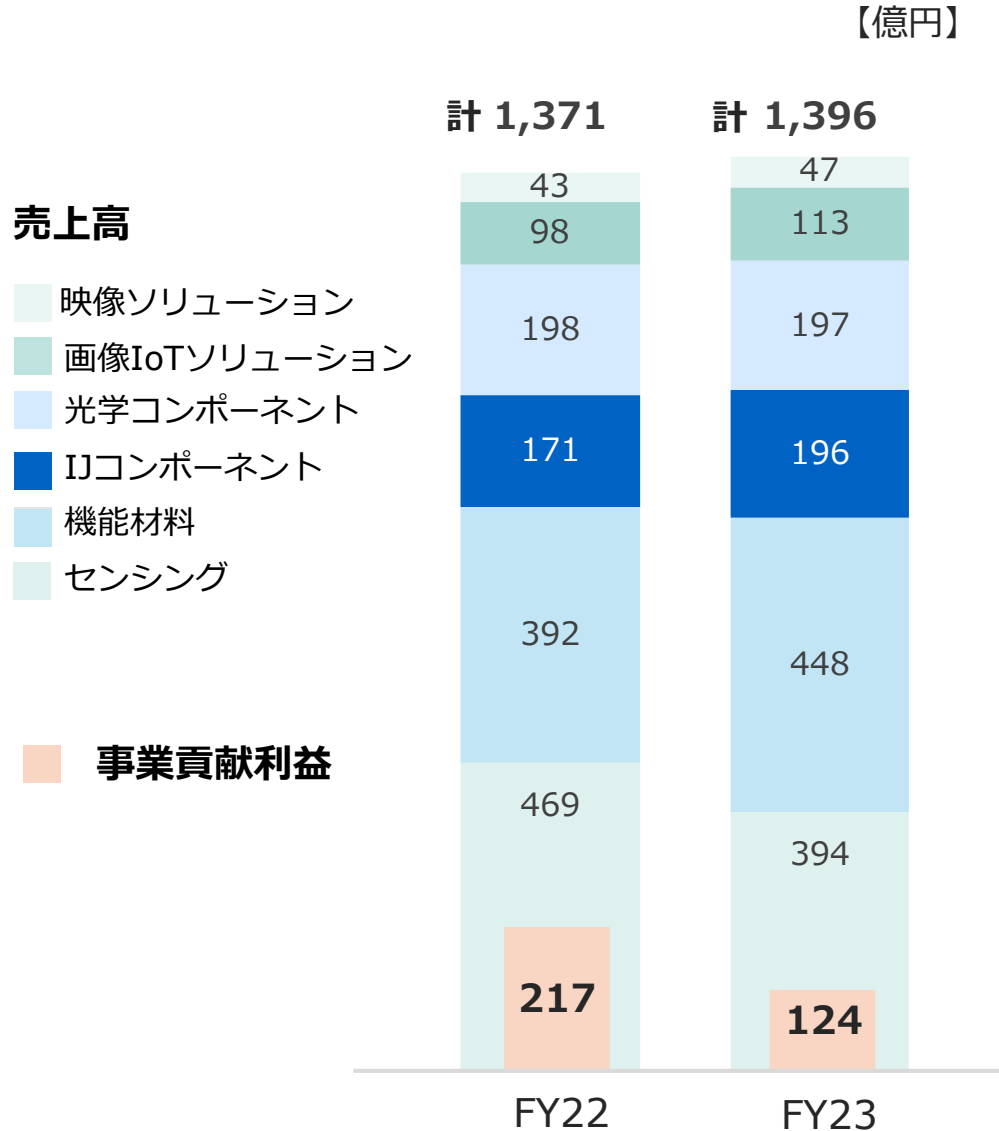
2023年度 業績 | 営業利益の増減要因 (通期)

【億円】



	事業貢献利益成分										その他収益・費用成分				
	FY22実績	減損剥落	FY22実績(減損除く)	為替	航空輸送費	物流費	販売数量他	生産コスト	エネルギー・部材費	人件費	構造改革効果	その他販管費	構造改革費用	その他収益・費用	FY23実績
デジタルワーク	215	+29	244	+64	+45	+74	△238	+84	+7	△46	+23	+6	+25	+41	330
プレイス事業	136	+9	144	+41	+19	+3	△63	+4	+3	△17	-	△3	-	△15	116
プロフェッショナル プリント事業	△1,115	+1,036	△80	+3	-	△0	+20	+14	△18	△14	+5	+1	+0	+56	△13
ヘルスケア事業	135	+81	216	+9	-	-	△83	+17	△9	△10	+4	△22	△1	△28	94
インダストリー事業	△321	+12	△309	△8	-	-	+3	-	-	+2	-	+40	-	+6	△266
コーポレート他	△951	+1,166	215	+108	+64	+77	△360	+120	△16	△85	+32	+22	+24	+60	261
合計	△951	+1,166	215	+108	+64	+77	△360	+120	△16	△85	+32	+22	+24	+60	261

(対前期)



【売上高】

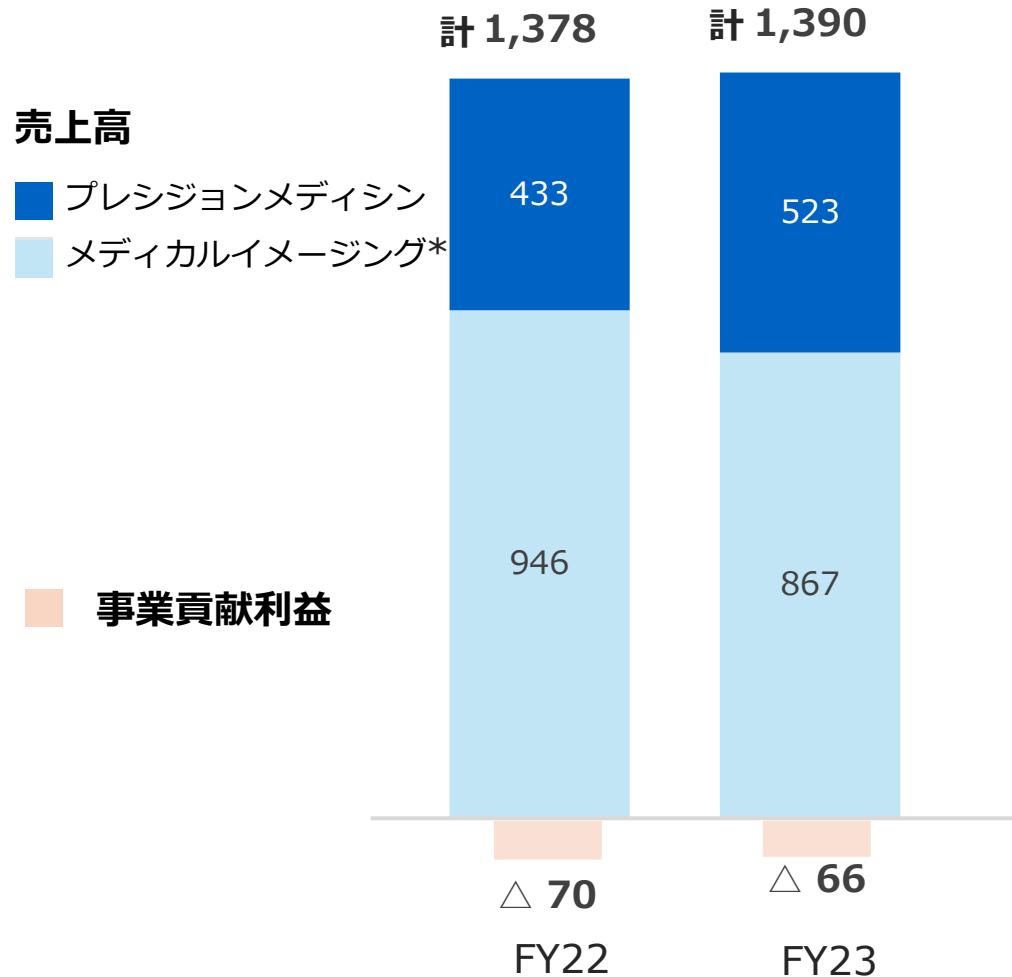
センシング	<ul style="list-style-type: none"> 光源色：大手顧客の設備投資抑制の影響で減少 物体色：好調 自動車外観：増収
機能材料	<ul style="list-style-type: none"> TV：パネル需要面積増加で堅調。SANUQIは伸長 スマホ：需要の回復傾向継続で堅調。新たな高機能性フィルム販売開始
IJコンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> サイングラフィックス：世界最大規模の展示会の活況により販売増加 成長領域：新規市場向けの採用獲得で堅調
画像IoTソリューション	<ul style="list-style-type: none"> 監視カメラソリューション：欧米販社堅調、Mobotix減少 Force Security社*：好調

【事業貢献利益】

インダストリー事業	<ul style="list-style-type: none"> センシング：減益 光学コンポーネント：生産子会社の持分譲渡における一過性費用増加により減益
-----------	--

* Force Security社：2023年度に買収した米国のシステムインテグレーター

【億円】



【売上高】

(対前期)

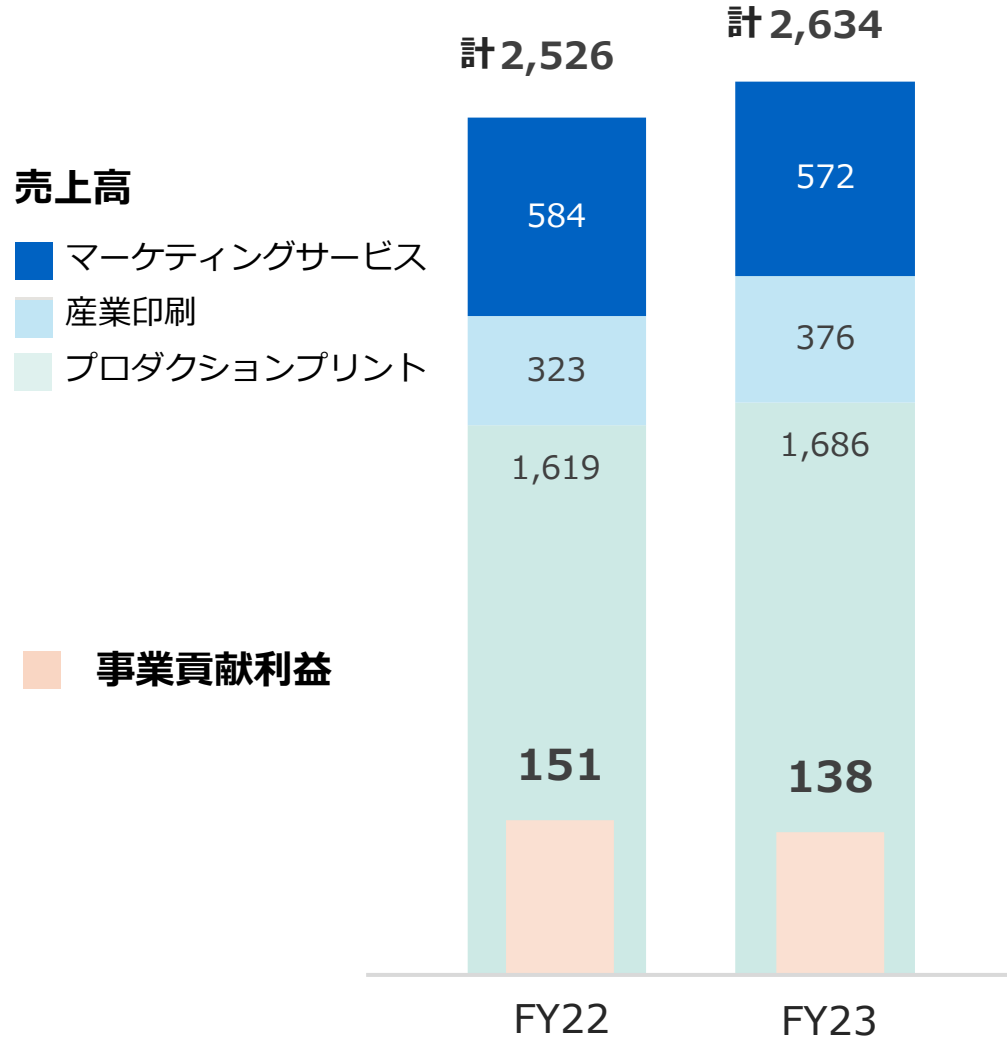
メディカルイメージング	<ul style="list-style-type: none"> • X線：日米の病院向けが投資抑制により販売大幅減 日本の診療所向けで販売堅調 • X線動態：高付加価値化を背景に米国で伸長
プレジジョンメディシン	<ul style="list-style-type: none"> • 遺伝子検査：サンプル数増加、Ambry社黒字継続 • 創薬支援：治験実施状況の改善 • 国内事業：GenMineTOPパネル検査の拡大

【事業貢献利益】

ヘルスケア事業	<ul style="list-style-type: none"> • メディカルイメージング：販売減と、それに伴う生産の稼働率低下による売上総利益率の悪化で減益 • プレジジョンメディシン：赤字縮小
---------	---

* メディカルイメージング：ヘルスケアユニット

【億円】



【売上高】

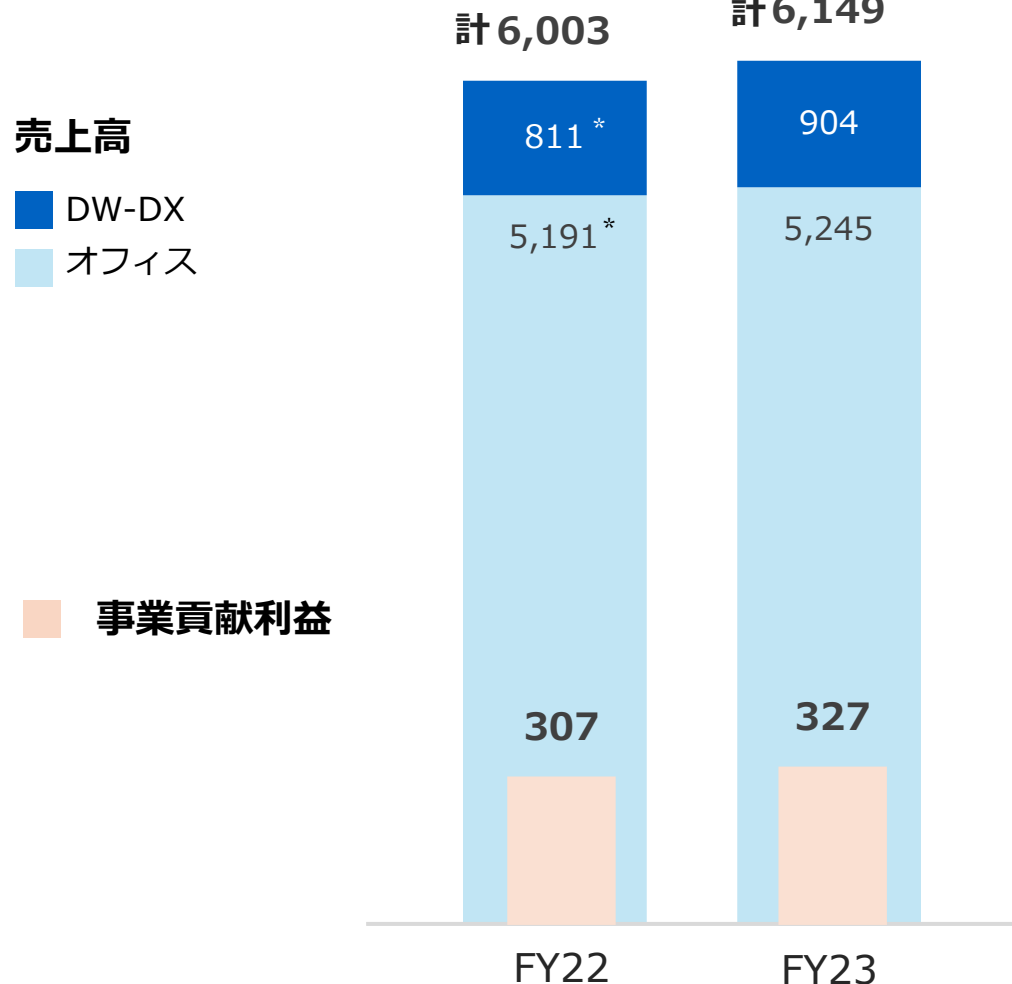
(対前期、ハード/ノンハードは為替影響除く)

プロダクションプリント	<ul style="list-style-type: none"> ハード：95% (前年の受注残解消除く 99%) カラー機台数 96% (HPP131%) モノクロ機台数 84% ノンハード：100% (前年の受注残解消除く 103%) 欧米で減少、中印で好調
産業印刷	<ul style="list-style-type: none"> ハード：すべての分野で台数増加 ノンハード：印刷機稼働台数の増加とデジタル印刷化比率の向上により売上増加

【事業貢献利益】

プロフェッショナルプリント事業	<ul style="list-style-type: none"> プロダクションプリント：増益 産業印刷：成長投資により減益 マーケティングサービス：増益
------------------------	--

【億円】



【売上高】

(対前期、ハード/ノンハードは為替影響除く)

オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ハード：90% (前年の受注残解除除く 104%) A3カラー機台数 87% A3モノクロ機台数 80% ノンハード：96% (前年の受注残解除除く 98%) 日欧米で減少、中印で増加 オフィスソリューション伸長
DW-DX	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化サービス：日米欧で好調 業種別のAI SaaSサービス：日本で好調

【事業貢献利益】

デジタルワークプレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> オフィス：生産コストダウン効果、物流費、航空輸送費減少などによる増益 DW-DX：販管費抑制等により損失縮小
---------------	---

*FY22の売上高は、MFPに付随するアプリケーション・サービスに関連する売上の組み換え含む。

中期経営計画の進捗



KONICA MINOLTA

富士フイルムビジネスイノベーション（BI）と、複合機・オフィス向けプリンター・プロダクションプリンター事業での業務提携に向けた協議を開始する基本合意書を締結

ねらい

複合機・プリンター市場を取り巻く環境が大きく変化
商品の強固な供給体制の構築など、事業基盤のさらなる強化を図る

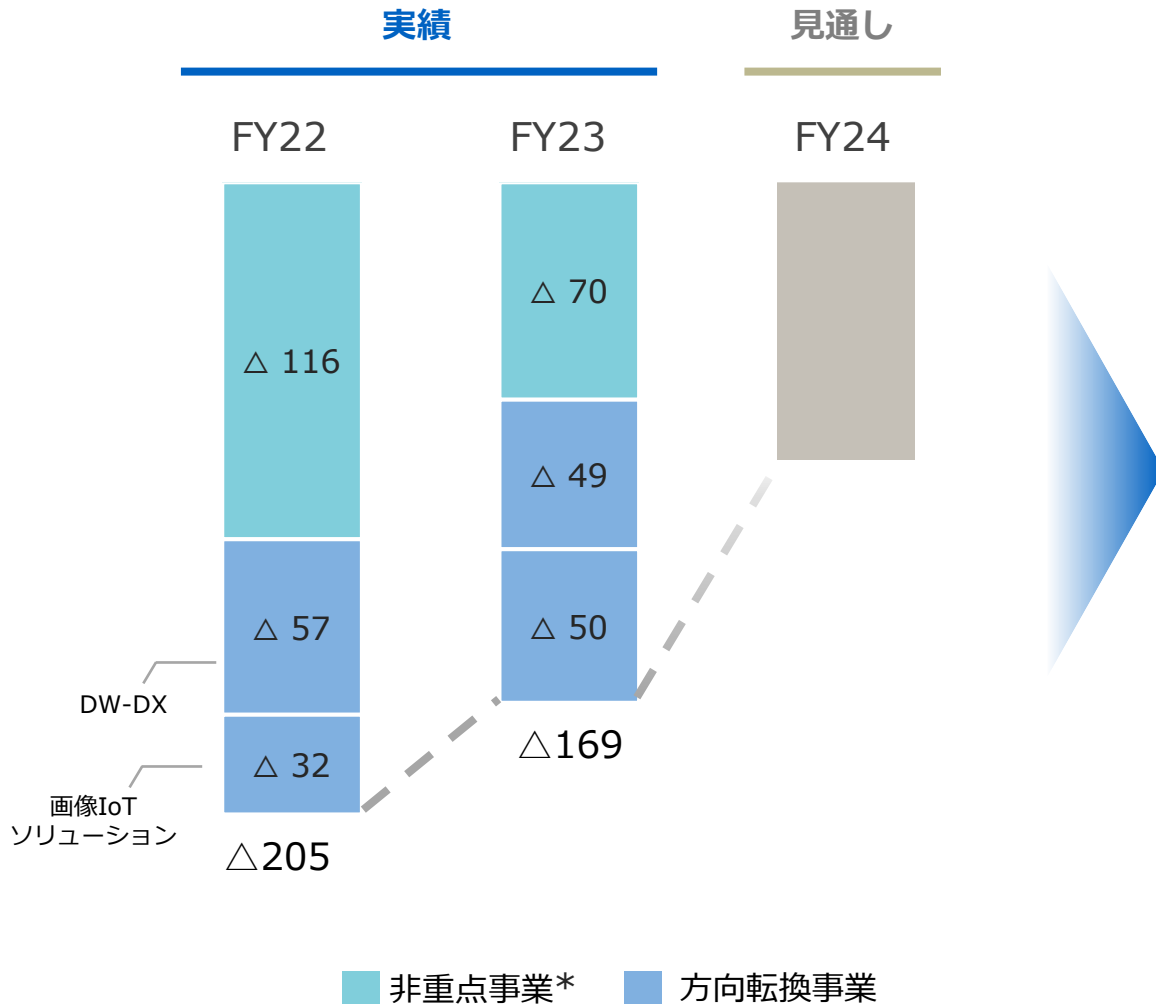
主な協議内容

- (1) 原材料・部材調達の連携を図るための合弁会社設立を含む調達に関わる業務提携
 - 設立目標時期：2024年度 第2四半期
 - 株式保有比率：富士フイルムBIが過半を保有
- (2) トナーの開発や生産に関わる業務提携
- (3) その他別途合意する対象事業に関する業務提携

中期経営計画の進捗 | 非重点事業・方向転換事業

事業貢献利益 推移

【億円】



中期経営計画の確実な実行

非重点事業 “事業の選択と集中”を加速

プレジジョンメディシン

Invicro社の全持分譲渡完了 (4/30)

光学コンポーネント（強化領域以外）

ラックスビジョンとの戦略的業務提携締結

マーケティングサービス

コニカミノルタマーケティングサービスの連結除外

方向転換事業

地域・展開国と事業領域を絞り込み
FY24-2Qからの実行に向けて準備中

DW-DX

国内開発体制とリソース最適化実施 (FY23-4Q)

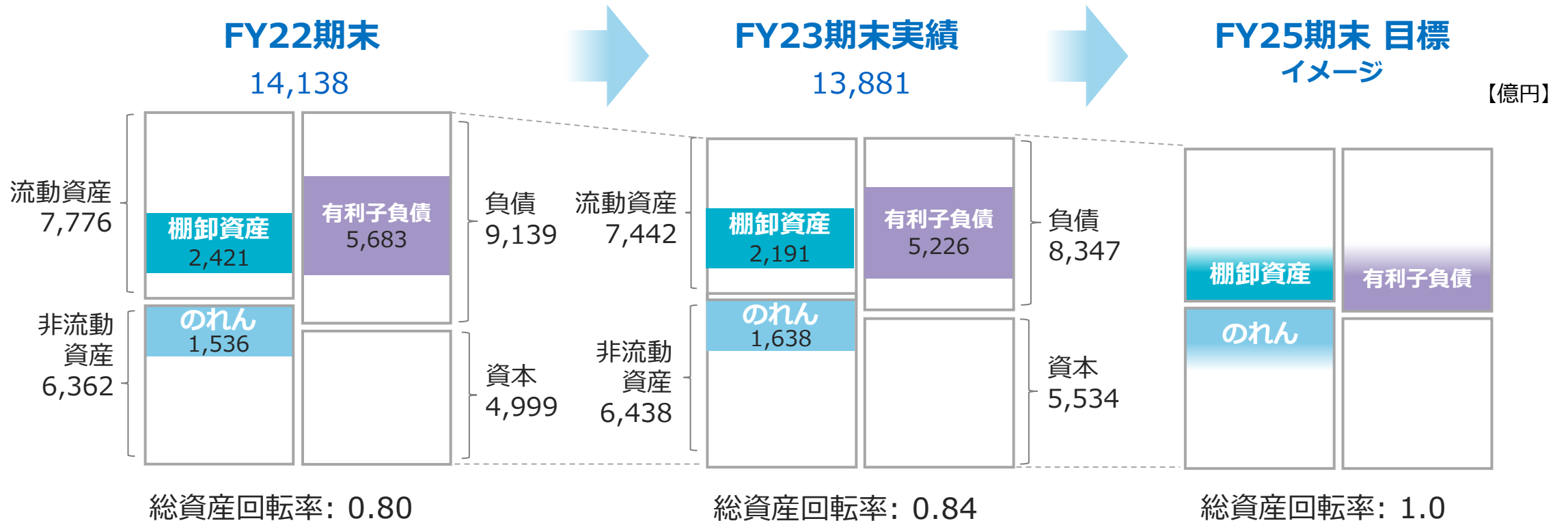
* 非重点事業：プレジジョンメディシンとマーケティングサービスの合算値

順調に資産の圧縮が進む

FY23 期末実績
(FY22期末比)

総資産 Δ 257億円、為替除く実質 Δ 1,218億円

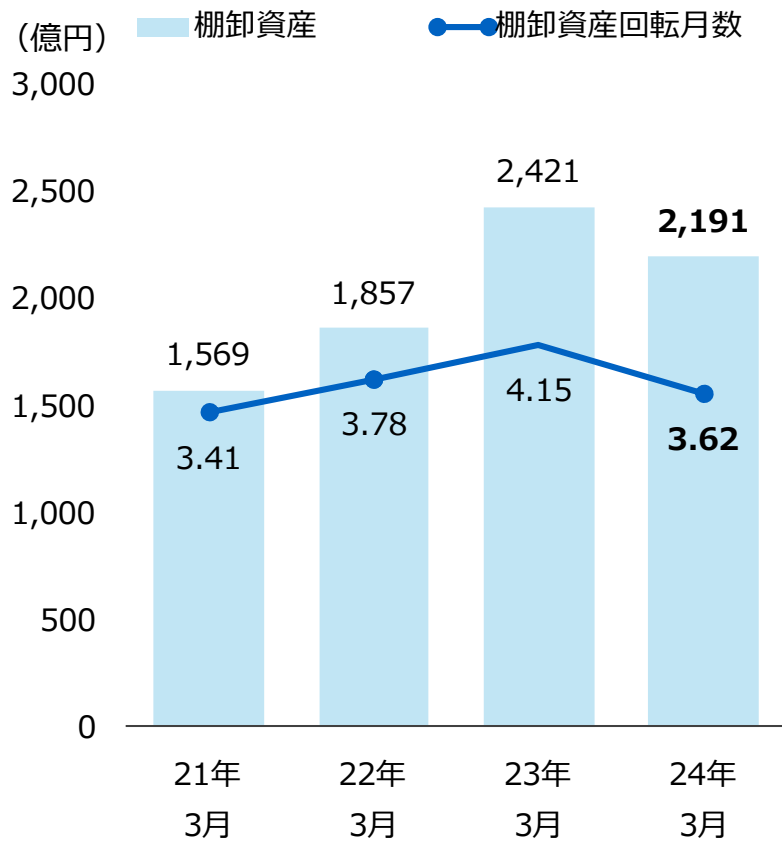
- 運転資本： Δ 68億円
- 棚卸資産： Δ 230億円
- 営業債権： $+$ 73億円



財務基盤の強化 | 棚卸資産、営業キャッシュ・フロー

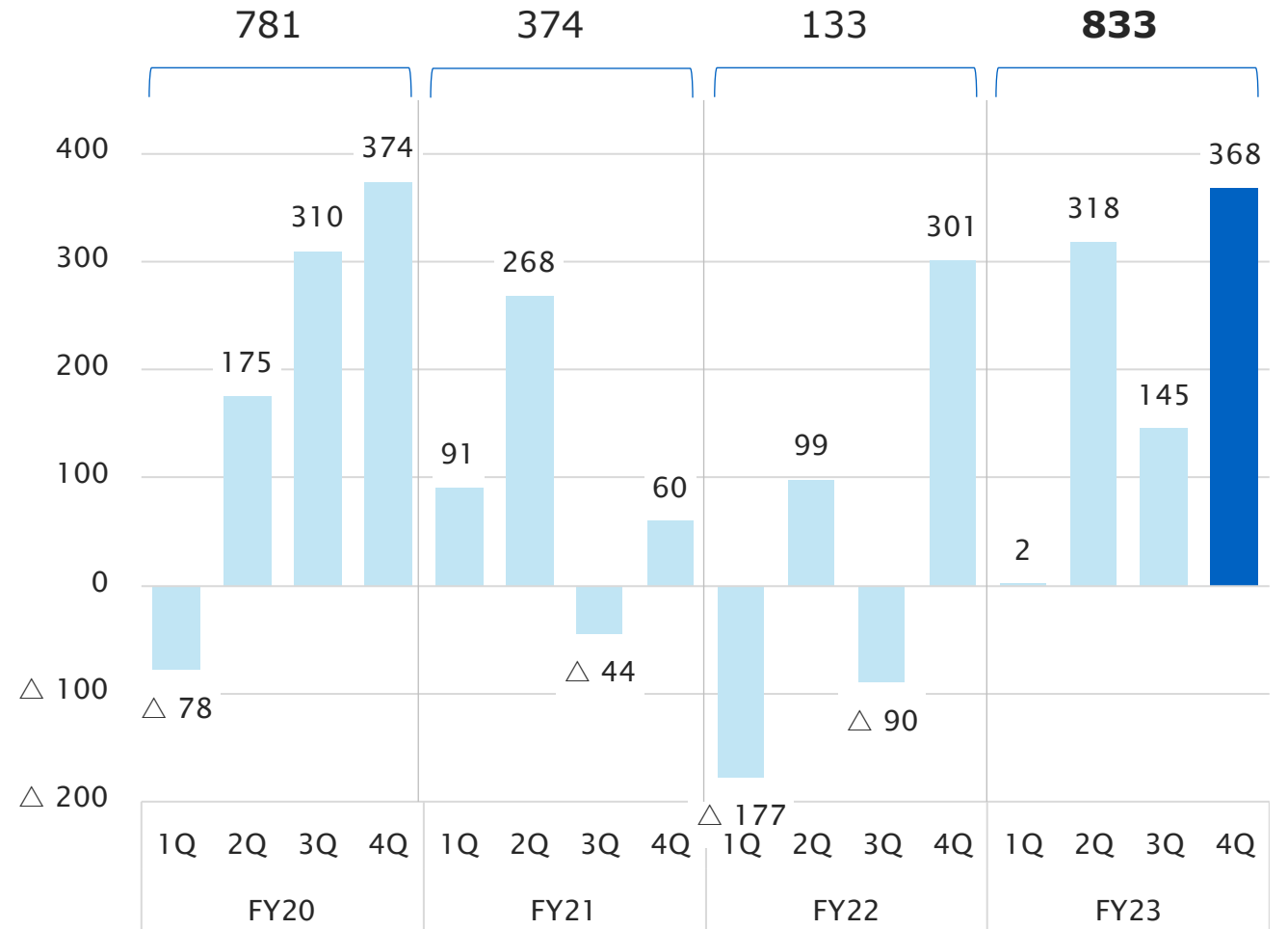
棚卸資産を圧縮し計画値より改善、営業CFも大幅改善

棚卸資産



営業キャッシュ・フロー

【億円】



2024年度業績見通し





2024年度 業績見通し | サマリー

- 売上高：事業譲渡、為替影響などを除いた実質ベースで約3%増収
- 事業貢献利益：強化事業の事業成長、グローバル構造改革効果、事業の選択と集中に伴う赤字縮小
- 営業利益：グローバル構造改革と事業の選択と集中の費用を見込む
- 当期利益：金融収支と税率の改善を織り込むもブレイクイーブン

【億円】

	2024年度 見通し	対前年		
		2023年度実績	差異	増減率
売上高	11,600	11,600	-	-
事業貢献利益	400	260	+140	+ 54%
営業利益	130	261	△131	△ 50%
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	0	45	△45	-

為替感応度* 【億円】

為替レート	【円】			為替感応度*	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益
USドル	140.0	144.6	△ 4.6	+30	△ 1
ユーロ	150.0	156.8	△ 6.8	+17	+4
RMB	20.0	20.1	△ 0.1	+31	+10

2024年度 業績見通し | セグメント別

【億円】

売上高	2024年度 見通し	対前年		
		2023年度 実績	差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	6,000	6,149	△149	△ 2%
プロフェッショナルプリント事業	2,700	2,634	+66	+ 3%
ヘルスケア事業	1,360	1,390	△30	△ 2%
インダストリー事業	1,530	1,396	+134	+ 10%
コーポレート他	10	31	△21	△ 68%
全社合計	11,600	11,600	0	-

事業貢献利益	2024年度 見通し	率	対前年			
			2023年度 実績		差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	335	5.6%	327	5.3%	+8	+ 2%
プロフェッショナルプリント事業	165	6.1%	138	5.2%	+27	+ 20%
ヘルスケア事業	△ 20	-	△ 66	-	+46	-
インダストリー事業	185	12.1%	124	8.9%	+61	+ 50%
コーポレート他	△ 265	-	△ 263	-	△2	-
全社合計	400	3.4%	260	2.2%	+140	+ 54%

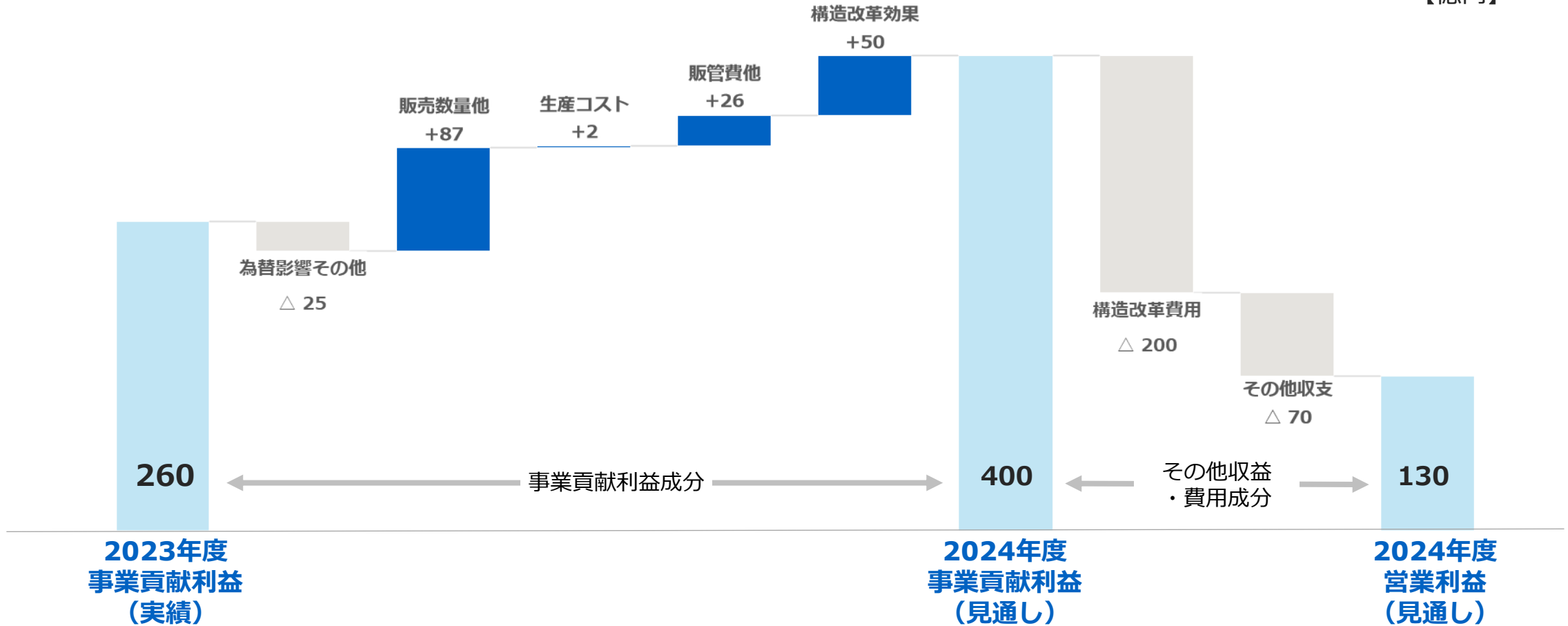
営業利益	2024年度 見通し	率	対前年			
			2023年度 実績		差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	335	5.6%	330	5.4%	+5	+ 2%
プロフェッショナルプリント事業	165	6.1%	116	4.4%	+49	+ 42%
ヘルスケア事業	△ 20	-	△ 13	-	△7	-
インダストリー事業	185	12.1%	94	6.7%	+91	+ 98%
コーポレート他	△ 535	-	△ 266	-	△269	-
全社合計	130	1.1%	261	2.2%	△131	△ 50%



2024年度 業績見通し

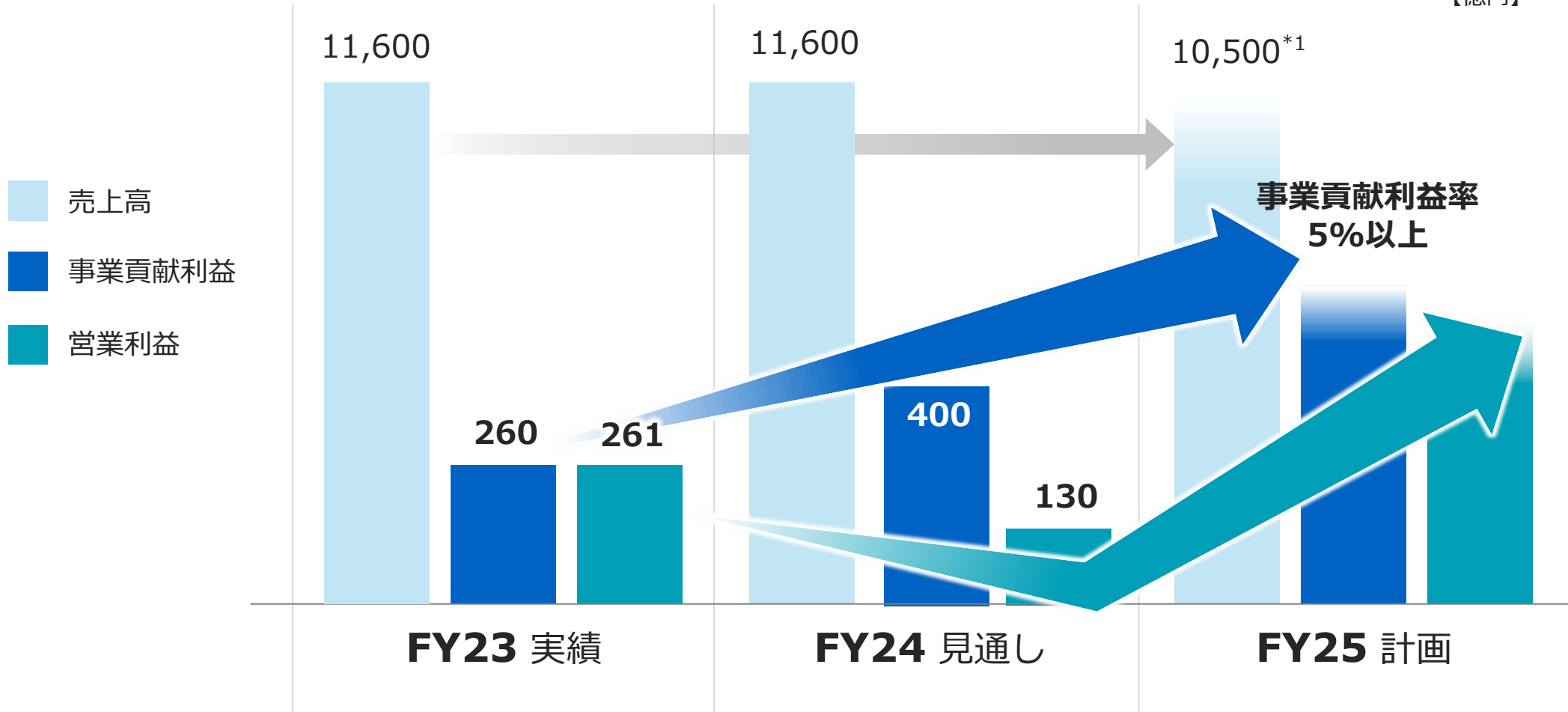
- 事業貢献利益：為替影響、事業成長・事業構成の変化、コスト構造改善（赤字縮小）、構造改革効果
- 営業利益：構造改革費用、その他収支（事業の選択と集中に伴う一過性費用）

【億円】



2024年度に構造改革一時費用を織り込み 2025年度以降の成長へ

【億円】



想定為替レート	(実績) FY22	(実績) FY23	FY24	FY25
USD	135.5	144.6	140.0	135.0
EUR	141.0	156.8	150.0	140.0

*1 非重点事業の連結除外後

2024年度の配当方針について

FY24は事業への投資および有利子負債の圧縮を最優先とし、現段階では無配とさせていただきます

中期経営計画におけるキャピタルアロケーション

FY23-25累計

キャッシュイン

営業CF
2,700~3,000
億円

- 事業成長
- 棚卸資産の最適化
- 戦略在庫の平準化など

キャッシュアウト

事業投資
(設備・投融資・その他)
1,500 億円

負債削減+配当
1,200~1,500
億円

FY23実績

- 営業CF : 833億円
- 投資CF : △445億円
- 有利子負債削減 : △458億円

配当方針

連結業績や成長分野への投資、CFなどを総合的に勘案し、配当を基本として利益還元の充実に努めることを基本方針としております。

ESGの取り組み



KONICA MINOLTA

女性が活躍する会社BEST100に選出

- 『日経Woman』実施の企業の女性活躍度調査で、同業種内*で5位に選出
- 管理職登用度と人材多様性を特に高く評価

経産省が公表した「市場形成力指標が高い企業」10社に選定

- ガス漏えい検査システムで、屋外貯蔵タンク周囲でスマート保安を活用する市場の創出を高く評価

ガス漏えい検査システムでTechnology of the Yearを受賞

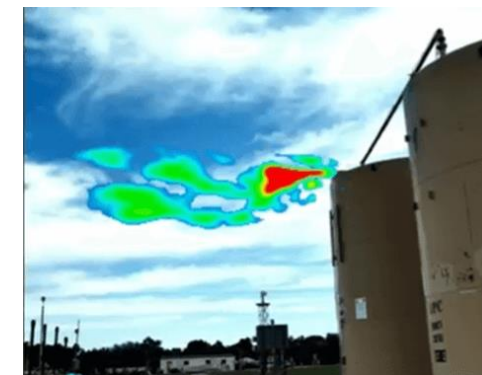
- 米国の石油・ガス事業者や政府機関から信頼される高精度なシステムとして、天然ガス産業が直面する環境課題への貢献を高く評価

英国ClarivateのTop100 グローバル・イノベーターに選出

- 世界110万の組織から特許を活用しビジネスをリードする100社が選定
- 特に発明・製品が複数の技術で構成されている「希少性」が高く評価

英国CDPよりサプライヤーエンゲージメントリーダーに選出

- 気候変動に関するサプライヤー活動において4年連続で最高評価を獲得
- カーボンマイナスの達成を目指したビジネスパートナーとの取り組みが評価



Top 100
Global
Innovator
2024

Clarivate™

CDP™
SUPPLIER
ENGAGEMENT
LEADER 2023



有限な資源の
有効利用



気候変動への
対応

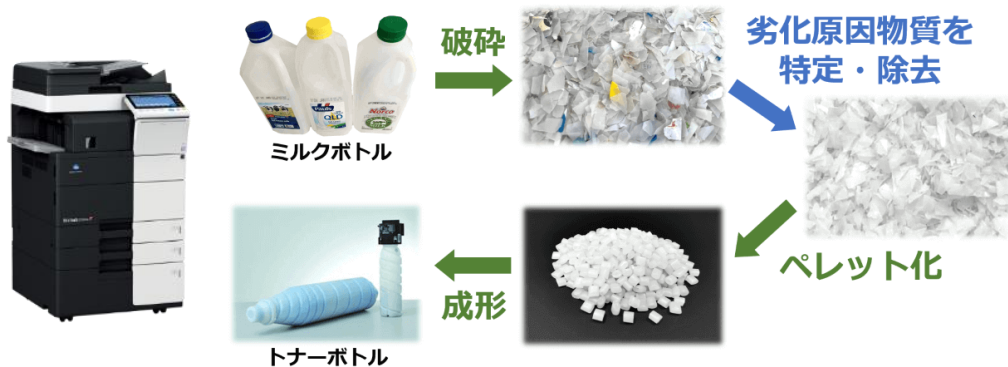


KONICA MINOLTA

複合機事業で培った技術を活用し、他社製品向けリサイクル材を共同開発 再生材サプライチェーンでの脱炭素に貢献

自社製品への再生材使用

- 複合機の再生材使用率で業界トップクラス
- **強み：高PCR*材の処方設計、高品質射出成形**



他社製品への再生材使用

- NECプラットフォームズ*のWi-Fiルータの外装部品向けリサイクル材を共同開発
- 強度や難燃性を向上し、製品へ搭載実現



* PCR : Post-Consumer Recycled。使用済みの製品を回収し再生資源化すること

* NECプラットフォームズ株式会社

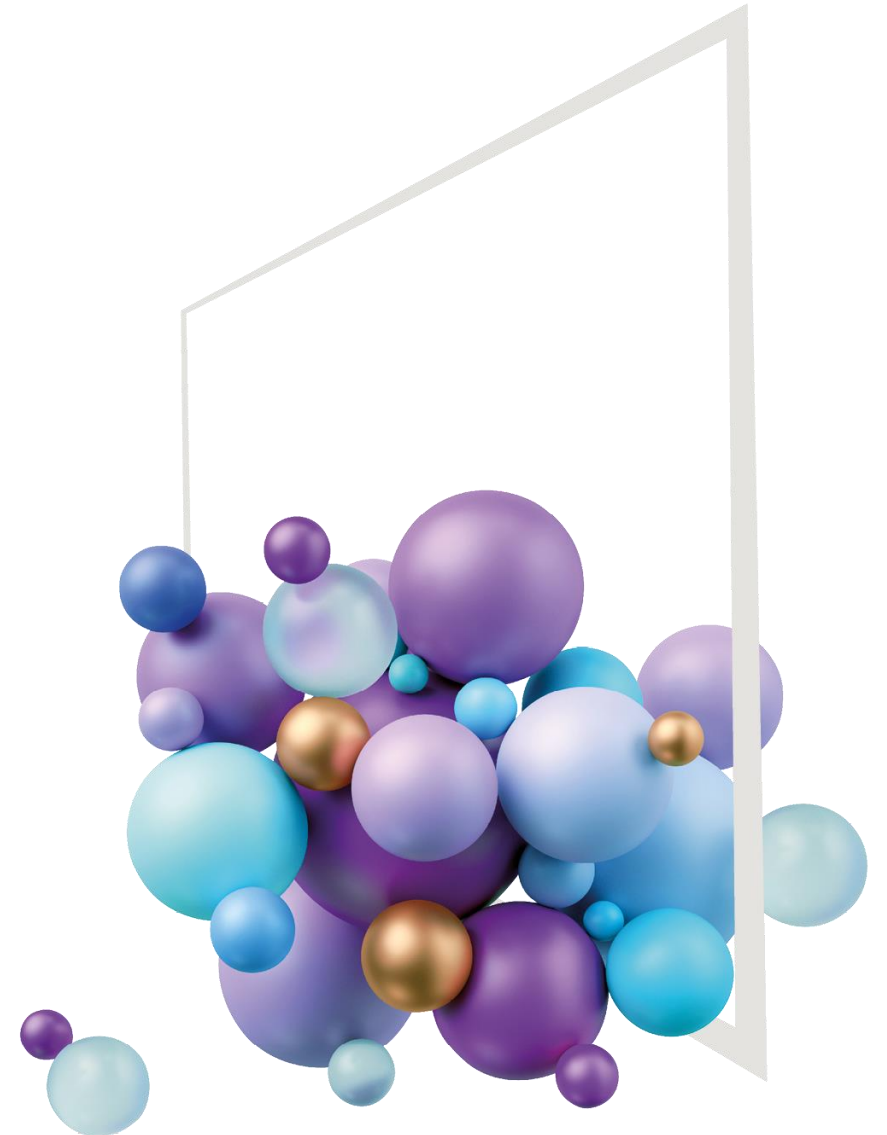


KONICA MINOLTA

APPENDIX

開示しておりました一部資料はウェブ上の開示に変更しました。
以下よりダウンロードしてご確認ください。

https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2024/2024_4q_presentation_supplementary.xlsx



外部環境

<p>Politics</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際情勢の変化、地政学リスク ・持続可能性重視の経済政策への転換 	<p>Economy</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国経済の停滞懸念 ・為替や資源相場のボラティリティ拡大 ・コスト高による設備投資抑制顕在化
<p>Society</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク/ライフスタイルの変化の継続 ・気候変動、環境問題への意識の高まり 	<p>Technology</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の利活用が進展継続 ・各産業で自動化・省力化ニーズの高まり

外部環境を踏まえた事業の見通し

<p>デジタル ワークプレイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード：新規受注鈍化 ・ノンハード：緩やかなプリント量減少 ・IT/DX：需要堅調 	<p>プロフェッショナル プリント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード：drupa*をきっかけにデジタル印刷へのシフト加速 ・ノンハード：中堅、大手がけん引しプリント量需要増
<p>インダストリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルム市場：テレビVAパネル向けが先行して緩やかに回復、IT/モバイル向けはFY23水準が継続 ・ディスプレイ向け計測器：顧客の設備投資が24年度後半から回復 	<p>メディカル イメージング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の質と労働生産性向上ニーズ増 ・人件費や金利高騰による病院市場の設備投資抑制継続（米国）
<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費：増加基調が継続 		

*drupa：世界最大の印刷機器展示会

2023年度 業績 | ハード・ノンハード売上 対FY19

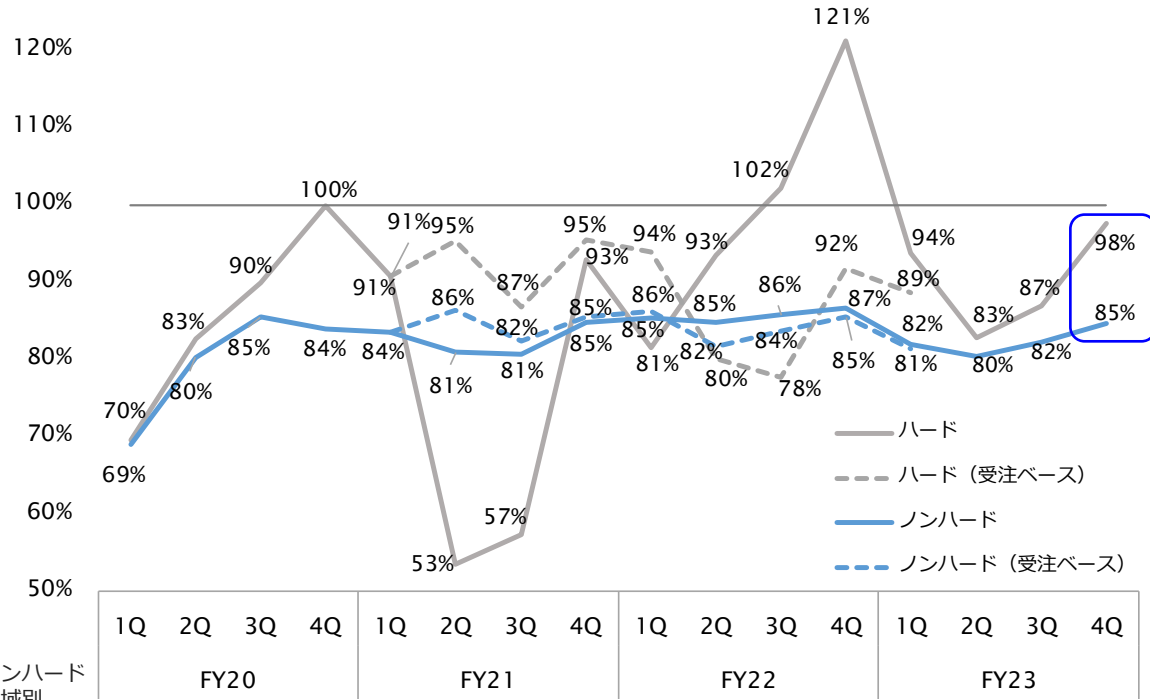


KONICA MINOLTA

(2019年度を100%とした場合)

オフィス

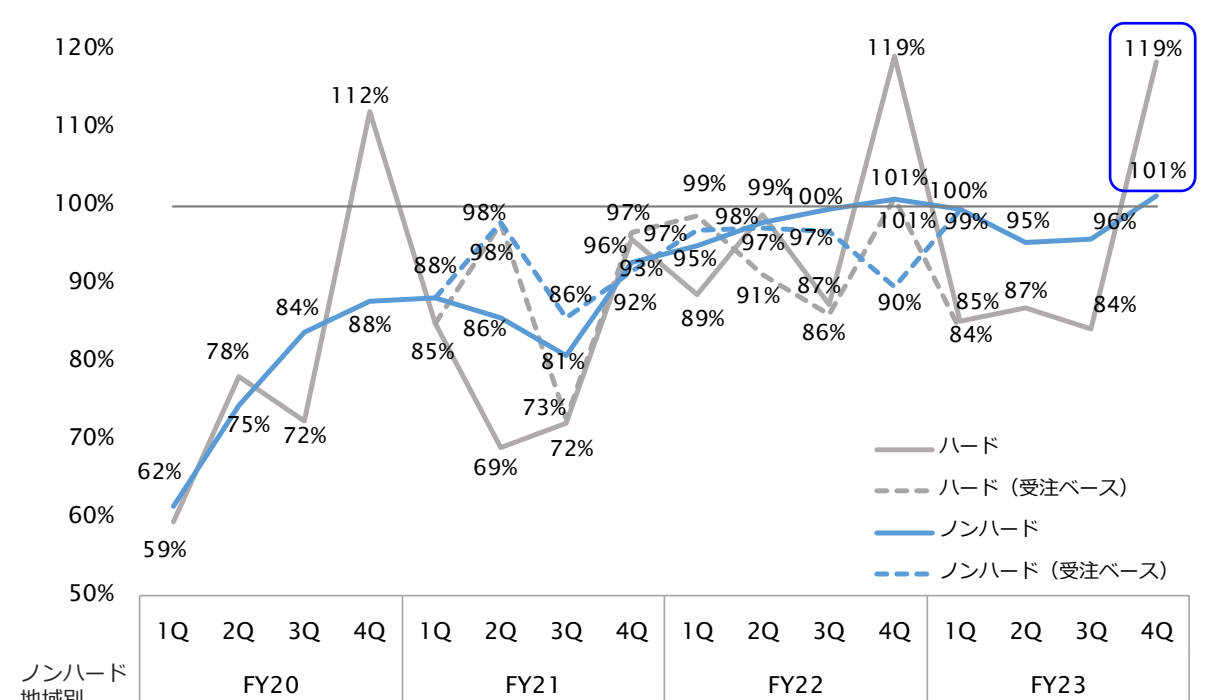
FY23通期 : ハード90% ノンハード82%



日本	85%	90%	94%	92%	92%	87%	91%	89%	89%	87%	89%	89%	88%	84%	87%	86%
米国	62%	73%	78%	81%	77%	75%	74%	82%	77%	80%	81%	82%	71%	74%	75%	80%
欧州	66%	82%	83%	78%	83%	82%	77%	82%	87%	82%	78%	87%	82%	78%	80%	83%
中国	107%	105%	115%	140%	109%	111%	75%	110%	114%	107%	104%	127%	108%	134%	89%	132%
インド	52%	68%	98%	113%	73%	103%	127%	108%	143%	128%	159%	144%	180%	149%	189%	182%
合計	69%	80%	85%	84%	84%	81%	81%	85%	85%	85%	86%	87%	82%	80%	82%	85%

プロダクションプリント

FY23通期 : ハード93% ノンハード98%



日本	76%	82%	88%	87%	81%	76%	66%	78%	75%	72%	77%	80%	76%	77%	75%	77%
米国	52%	67%	77%	82%	76%	75%	76%	90%	81%	83%	86%	82%	75%	71%	78%	84%
欧州	64%	77%	79%	78%	88%	94%	77%	86%	98%	105%	96%	97%	95%	91%	89%	88%
中国	113%	117%	140%	138%	176%	138%	98%	127%	120%	143%	144%	196%	204%	200%	141%	181%
インド	34%	71%	105%	113%	83%	107%	121%	114%	136%	127%	152%	140%	180%	160%	165%	164%
合計	62%	75%	84%	88%	88%	86%	81%	93%	95%	98%	100%	101%	100%	95%	96%	101%

2023年度 業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

**FY23
4Q実績**

【億円】

売上高	FY23 4Q	対前年		
		FY22 4Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	1,643	1,631	+ 1%	△ 9%
プロフェッショナルプリント事業	737	677	+ 9%	△ 2%
ヘルスケア事業	405	409	△ 1%	△ 8%
インダストリー事業 *1	380	366	+ 4%	△ 2%
コーポレート他 *1	16	10	+ 61%	+ 61%
全社合計	3,180	3,094	+ 3%	△ 6%

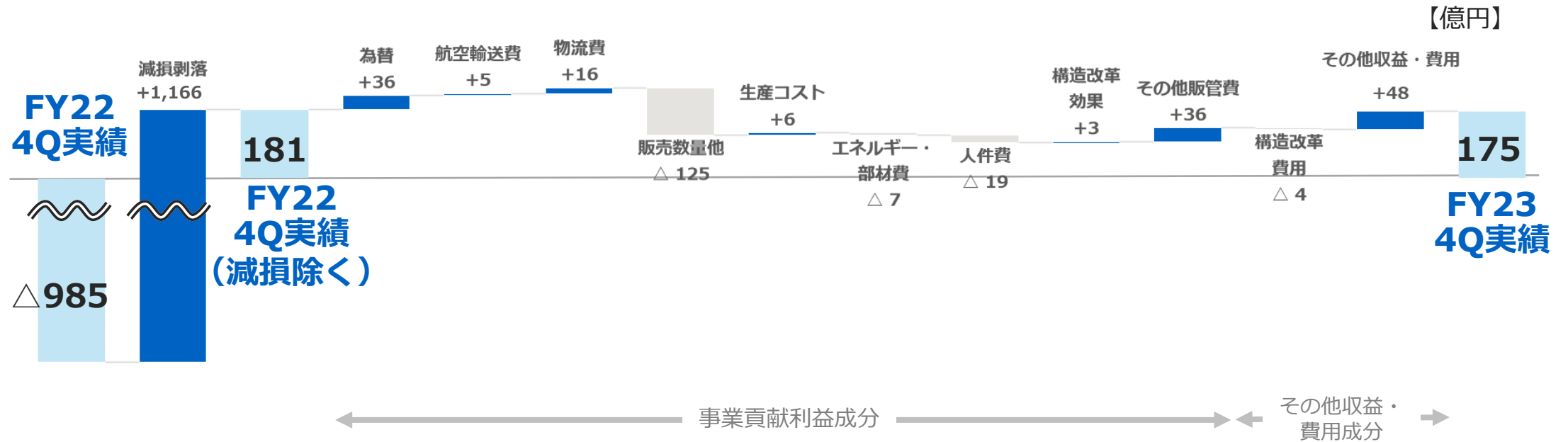
事業貢献利益	FY23 4Q	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 4Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	122	7%	140	△ 13%	△ 25%
プロフェッショナルプリント事業	50	7%	57	△ 13%	△ 43%
ヘルスケア事業	△ 11	-	11	-	-
インダストリー事業 *1	33	9%	55	△ 40%	△ 48%
コーポレート他 *1	△ 56	-	△ 75	-	-
全社合計	138	4%	188	△ 26%	△ 46%

営業利益	FY23 4Q	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 4Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	133	8%	108	+ 24%	+ 8%
プロフェッショナルプリント事業	28	4%	47	△ 40%	△ 75%
ヘルスケア事業	46	11%	△ 1,025	-	-
インダストリー事業 *1	24	6%	△ 26	-	-
コーポレート他 *1	△ 57	-	△ 88	-	-
全社合計	175	6%	△ 985	-	-

* 1 FORXAIの売上高・事業貢献利益・営業利益は、FY22はインダストリー事業、FY23はコーポレート他に含む。本資料ではFY22もコーポレート他に組み替えて表記。

* 2 本社費等配賦調整：全社に関わる一部費用を、2022年度まで事業セグメントに配賦をしていたが、2023年度から見直しを実施。
表中の値は、参考として2022年度実績の費用配賦を2023年度の基準に調整した後の値。
デジタルワークプレイス事業とプロフェッショナルプリント事業の共通費配賦調整を含む。

2023年度 業績 | 営業利益の増減要因 (4Q)



	FY22-4Q実績	減損剥落	FY22-4Q (減損除く)	為替	航空輸送費	物流費	販売数量他	生産コスト	エネルギー・部材費	人件費	構造改革効果	その他販管費	構造改革費用	その他収益・費用	FY23-4Q実績
デジタルワーク プレイス事業	108	+29	137	+17	+3	+16	△77	+7	+1	△11	-	+26	△4	+18	133
プロフェッショナル プリント事業	47	+9	56	+17	+2	-	△24	+1	+1	△4	-	+1	-	△20	28
ヘルスケア事業	△1,025	+1,036	10	+6	-	△0	△7	△2	△9	△1	+1	△4	-	+51	46
インダストリー事業	△26	+81	55	+3	-	-	△20	△1	-	△4	+2	△2	-	△8	24
コーポレート他	△88	+12	△76	△7	-	-	+4	-	-	-	-	+15	-	+7	△57
合計	△985	+1,166	181	+36	+5	+16	△125	+6	△7	△19	+3	+36	△4	+48	175

【億円】

	2023年度 通期	2022年度 通期	前期比	2023年度 4Q	2022年度 4Q	前期比
売上高	11,600	11,304	+3%	3,180	3,094	+3%
売上総利益	5,047	4,859	+4%	1,366	1,344	+2%
（売上総利益率）	43.5%	43.0%	+0.5pt	42.9%	43.4%	△ 0.5pt
販売管理費	4,787	4,562	+5%	1,228	1,156	+6%
事業貢献利益	260	297	△13%	138	188	△26%
（事業貢献利益率）	2.2%	2.6%	△ 0.4pt	4.3%	6.1%	△ 1.7pt
その他収益・費用	1	△ 1,249	-	37	△ 1,173	-
営業利益	261	△ 951	-	175	△ 985	-
（営業利益率）	2.2%	-	-	5.5%	-	-
金融収支	△ 123	△ 67	-	△ 23	△ 26	-
税引前利益	136	△ 1,019	-	152	△ 1,010	-
（税引前利益率）	1.2%	-	-	4.8%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	45	△ 1,032	-	87	△ 999	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	0.4%	-	-	2.7%	-	-
EPS（円）	9.15	△ 208.89		17.54	△ 202.30	
設備投資額	445	438		140	169	
減価償却費及び償却費*	542	552		134	137	
研究開発費	651	639		163	164	
FCF	388	△ 242		255	186	
投融资	6	29		-	13	
為替レート [円] USD	144.62	135.47	+9.15	148.61	132.34	+16.27
EUR	156.80	140.97	+15.83	161.31	142.10	+19.21

* IFRS16による使用权資産償却費は含まない

営業利益増減分析

【億円】

		前年同期比 (FY23累計 vs FY22累計)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
		【営業利益】						
事業貢献利益 成分 その他収益・ 費用成分	為替		+64	+41	+3	+9	△ 8	+108
	販売数量他		△ 93	△ 40	+15	△ 76	+3	△ 190
	値上げ		+37	+4	+1	+2	-	+44
	その他販管費		+13	△ 18	△ 8	△ 28	+42	△ 0
	その他収益費用		+95	△ 6	+1,092	+52	+18	+1,251
合計			+115	△ 19	+1,103	△ 41	+55	+1,212

		前年同期比 (FY23/4Q vs FY22/4Q)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
		【営業利益】						
事業貢献利益 成分 その他収益・ 費用成分	為替		+17	+17	+6	+3	△ 7	+36
	販売数量他		△ 63	△ 22	△ 19	△ 21	+4	△ 120
	値上げ		+12	-	+1	△ 0	-	+13
	その他販管費		+16	△ 3	△ 4	△ 3	+15	+21
	その他収益費用		+43	△ 11	+1,087	+73	+19	+1,210
合計			+26	△ 19	+1,071	+51	+31	+1,160

販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

【億円】

	2023年度 通期	2022年度 通期	前期比	2023年度 4Q	2022年度 4Q	前期比
販売管理費						
販売変動費	443	482	△39	105	110	△5
研究開発費	651	639	+12	163	164	△1
人件費	2,384	2,179	+205	627	554	+72
その他	1,309	1,262	+47	332	327	+5
販売管理費 計	4,787	4,562	+225	1,228	1,156	+72
*為替影響額：	+240億円（除く為替 △15億円）			+94億円（除く為替 △22億円）		
その他の収益						
売却目的保有資産に係る減損損失戻入益	36	-	+36	36	-	+36
減損損失戻入益	35	-	+35	35	-	+35
試作品売却収入	13	2	+10	4	1	+3
保険金収入	12	21	△9	1	8	△6
退職給付制度改定益	11	-	+11	11	-	+11
その他	46	42	+3	19	15	+4
その他の収益 計	152	65	+87	106	24	+83
その他の費用						
減損損失	47	1,166	△1,119	29	1,166	△1,137
有形固定資産及び無形資産除売却損	21	11	+10	7	5	+2
事業構造改善費用	11	45	△34	1	6	△5
試作品売却原価	10	2	+7	3	1	+2
訴訟和解金	-	32	△32	-	-	-
その他	63	57	+6	29	17	+11
その他の費用 計	151	1,314	△1,163	69	1,196	△1,127
金融収支						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 98	△ 54	△44	△ 25	△ 16	△ 9
為替差損益	△ 18	△ 10	△8	4	△ 9	+12
その他	△ 7	△ 3	△4	△ 2	△ 1	△0
金融収支 計	△ 123	△ 67	△56	△ 23	△ 26	+3

連結キャッシュ・フロー

【億円】

	FY21 累計	FY22 累計	FY23 累計
税引前利益（△は損失）	△ 236	△ 1,019	136
減価償却費及び償却費	758	753	758
減損損失及びその戻入益	110	1,167	12
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	40	△ 140	265
棚卸資産の増減（△は増加）	△ 173	△ 469	388
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	21	23	△ 243
その他	△ 145	△ 182	△ 483
営業活動によるキャッシュ・フロー	374	133	833
有形固定資産の取得による支出	△ 413	△ 218	△ 273
無形資産の取得による支出	△ 198	△ 190	△ 179
子会社株式の取得による支出	-	△ 8	△ 14
その他	100	41	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 510	△ 375	△ 445
フリー・キャッシュ・フロー	△ 136	△ 242	388

連結財政状態計算書



KONICA MINOLTA

【億円】

	22年3月	23年3月	24年3月
現金及び現金同等物	1,177	1,806	1,271
営業債権及びその他の債権	2,802	3,135	3,195
棚卸資産	1,857	2,421	2,191
その他の流動資産	353	414	418
売却目的で保有する資産	-	-	367
流動資産合計	6,189	7,776	7,442
有形固定資産	2,877	2,891	2,822
のれん及び無形資産	3,541	2,589	2,710
その他の非流動資産	774	882	906
非流動資産合計	7,193	6,362	6,438
資産合計	13,381	14,138	13,881

	22年3月	23年3月	24年3月
営業債務及びその他の債務	1,821	2,005	1,938
社債及び借入金	3,543	4,691	4,266
リース負債	943	992	959
その他の負債	1,459	1,451	1,183
負債合計	7,766	9,139	8,347
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,498	4,874	5,398
非支配持分	117	125	136
資本合計	5,615	4,999	5,534
負債及び資本合計	13,381	14,138	13,881

	22年3月	23年3月	24年3月
自己資本比率(%)	41.1	34.5	38.9
格付け評価用自己資本比率(%)	44.8	37.9	42.4
D/Eレシオ	0.82	1.17	0.97

主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】
【影響額、感応度：億円】

	FY22	FY23	対前年影響額		為替感応度*2	
	累計	累計	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	135.47	144.62	+281	△ 1	+30	△ 1
ユーロ	140.97	156.80	+262	+100	+17	+4
ポンド	163.15	181.76	+45	+0	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	+334	+103	+24	+7
人民元	19.75	20.14	+11	+3	+31	+10
その他	-	-	+46	+5	-	-
予約影響額	-	-	-	△ 3	-	-
合計	-	-	+672	+108	-	-

*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

2023年度 業績 | 事業セグメント別実績

【億円】

売上高	FY23 通期	対前年			対前年（調整後）*			FY23 4Q	対前年			対前年（調整後）*		
		FY22 通期	前期比	為替影響を除く	FY22 通期	前期比	為替影響を除く		FY22 4Q	前期比	為替影響を除く	FY22 4Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	6,149	6,003	+ 2%	△ 4%	6,003	+ 2%	△ 4%	1,643	1,631	+ 1%	△ 9%	1,631	+ 1%	△ 9%
プロフェッショナルプリント事業	2,634	2,526	+ 4%	△ 2%	2,526	+ 4%	△ 2%	737	677	+ 9%	△ 2%	677	+ 9%	△ 2%
ヘルスケア事業	1,390	1,378	+ 1%	△ 3%	1,378	+ 1%	△ 3%	405	409	△ 1%	△ 8%	409	△ 1%	△ 8%
インダストリー事業	1,396	1,375	+ 1%	△ 2%	1,371	+ 2%	△ 2%	380	369	+ 3%	△ 3%	366	+ 4%	△ 2%
コーポレート他	31	21	+ 47%	+ 47%	26	+ 19%	+ 19%	16	7	+ 120%	+ 119%	10	+ 61%	+ 61%
全社合計	11,600	11,304	+ 3%	△ 3%	11,304	+ 3%	△ 3%	3,180	3,094	+ 3%	△ 6%	3,094	+ 3%	△ 6%

事業貢献利益	FY23 通期	率	対前年			対前年（調整後）*			FY23 4Q	率	対前年			対前年（調整後）*		
			FY22 通期	前期比	為替影響を除く	FY22 通期	前期比	為替影響を除く			FY22 4Q	前期比	為替影響を除く	FY22 4Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	327	5%	185	+ 77%	+ 43%	307	+ 7%	△ 14%	122	7%	110	+ 11%	△ 4%	140	△ 13%	△ 25%
プロフェッショナルプリント事業	138	5%	181	△ 24%	△ 47%	151	△ 8%	△ 36%	50	7%	64	△ 23%	△ 49%	57	△ 13%	△ 43%
ヘルスケア事業	△ 66	-	△ 77	-	-	△ 70	-	-	△ 11	-	10	-	-	11	-	-
インダストリー事業	124	9%	191	△ 35%	△ 41%	217	△ 43%	△ 48%	33	9%	48	△ 32%	△ 42%	55	△ 40%	△ 48%
コーポレート他	△ 263	-	△ 182	-	-	△ 307	-	-	△ 56	-	△ 45	-	-	△ 75	-	-
全社合計	260	2%	297	△ 13%	△ 49%	297	△ 13%	△ 49%	138	4%	188	△ 26%	△ 46%	188	△ 26%	△ 46%

営業利益	FY23 通期	率	対前年			対前年（調整後）*			FY23 4Q	率	対前年			対前年（調整後）*		
			FY22 通期	前期比	為替影響を除く	FY22 通期	前期比	為替影響を除く			FY22 4Q	前期比	為替影響を除く	FY22 4Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	330	5%	93	+ 256%	+ 187%	215	+ 53%	+ 24%	133	8%	78	+ 71%	+ 49%	108	+ 24%	+ 8%
プロフェッショナルプリント事業	116	4%	166	△ 30%	△ 55%	136	△ 14%	△ 44%	28	4%	54	△ 48%	△ 79%	47	△ 40%	△ 75%
ヘルスケア事業	△ 13	-	△ 1,122	-	-	△ 1,115	-	-	46	11%	△ 1,027	-	-	△ 1,025	-	-
インダストリー事業	94	7%	108	△ 13%	△ 23%	135	△ 30%	△ 39%	24	6%	△ 33	-	-	△ 26	-	-
コーポレート他	△ 266	-	△ 196	-	-	△ 321	-	-	△ 57	-	△ 58	-	-	△ 88	-	-
全社合計	261	2%	△ 951	-	-	△ 951	-	-	175	6%	△ 985	-	-	△ 985	-	-

* FY22実績（調整後）：FORXAIの組替、本社費等配賦調整後の値

セグメント別四半期推移

【億円】

【売上高】	FY22 *					FY23				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
デジタルワークプレイス事業	1,289	1,496	1,587	1,631	6,003	1,433	1,512	1,561	1,643	6,149
オフィス	1,109	1,290	1,377	1,416	5,191	1,226	1,291	1,332	1,396	5,245
DW-DX	180	206	209	216	811	207	221	228	247	904
プロフェッショナルプリント事業	551	648	651	677	2,526	602	638	657	737	2,634
プロダクションプリント	355	417	429	419	1,619	377	410	435	464	1,686
産業印刷	60	82	72	110	323	77	94	86	119	376
マーケティングサービス	136	149	151	148	584	148	134	136	153	572
ヘルスケア事業	287	353	329	409	1,378	293	345	347	405	1,390
メディカルイメージング	191	250	213	291	946	180	221	204	262	867
プレジジョンメディシン	95	103	116	118	433	113	124	143	143	523
インダストリー事業	349	325	331	366	1,371	332	362	322	380	1,396
センシング	135	114	113	108	469	91	98	99	106	394
機能材料	113	80	83	116	392	114	128	85	122	448
IJコンポーネント	37	42	47	45	171	45	47	49	55	196
光学コンポーネント	36	54	54	53	198	47	48	51	52	197
画像IoTソリューション	19	25	26	27	98	27	31	27	28	113
映像ソリューション	8	9	9	18	43	8	10	11	17	47
コーポレート他	3	7	5	10	26	4	6	5	16	31
全社合計	2,478	2,829	2,903	3,094	11,304	2,664	2,864	2,892	3,180	11,600

* FY22 実績：FORXAIの組替、本社費等配賦調整後の値

セグメント別四半期推移

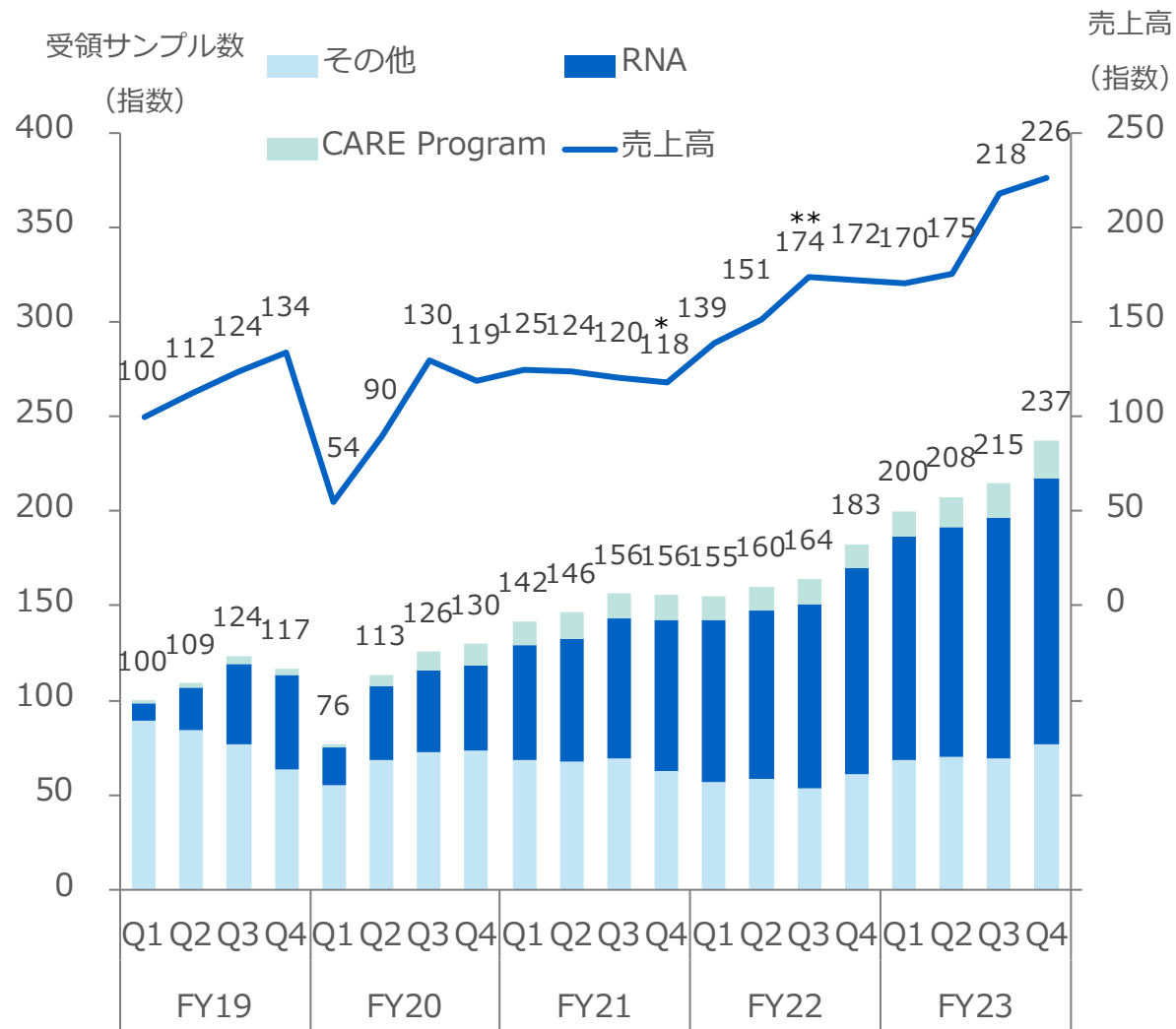
【億円】

【事業貢献利益】	FY22 *					FY23				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
デジタルワークプレイス事業	△ 2	74	94	140	307	24	84	97	122	327
プロフェッショナルプリント事業	2	36	55	57	151	8	28	52	50	138
ヘルスケア事業	△ 57	△ 21	△ 4	11	△ 70	△ 32	△ 8	△ 15	△ 11	△ 66
インダストリー事業	70	52	41	55	217	26	34	31	33	124
コーポレート他	△ 72	△ 76	△ 84	△ 75	△ 307	△ 66	△ 75	△ 66	△ 56	△ 263
全社合計	△ 59	67	102	188	297	△ 41	64	99	138	260

【営業利益】	FY22 *					FY23				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
デジタルワークプレイス事業	△ 43	70	80	108	215	20	80	96	133	330
プロフェッショナルプリント事業	△ 1	36	54	47	136	9	27	51	28	116
ヘルスケア事業	△ 63	△ 23	△ 4	△ 1,025	△ 1,115	△ 34	△ 9	△ 16	46	△ 13
インダストリー事業	70	52	40	△ 26	135	27	29	14	24	94
コーポレート他	△ 73	△ 76	△ 84	△ 88	△ 321	△ 66	△ 76	△ 68	△ 57	△ 266
全社合計	△ 110	59	85	△ 985	△ 951	△ 44	52	78	175	261

FY19 1Qを100とした時の指数/売上高は円貨ベース

Ambry社 売上高および受領サンプル数推移



* 売掛金/売上高減額前

** 売掛金/売上高修正を反映

2024年度 業績見通し | サマリー

【億円】

	2024年度 見通し	対前年		
		2023年度実績	差異	増減率
売上高	11,600	11,600	-	-
事業貢献利益	400	260	+140	+ 54%
営業利益	130	261	△131	△ 50%
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	0	45	△45	-
設備投資額	450	445	+5	+ 1%
減価償却費及び償却費 *1	500	542	△42	△ 8%
研究開発費	650	651	△1	△ 0%
FCF	430	388	+42	+ 11%
投融資	10	6	+4	+ 63%

為替感応度 *2 【億円】

為替レート [円]	為替感応度 *2 【億円】	
	売上高	営業利益
USD	+30	△ 1
EUR	+17	+4
RMB	+31	+10

*1 IFRS16による使用权資産償却費は含まない

*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）



KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。